

Osaka Metro まちさんぽ

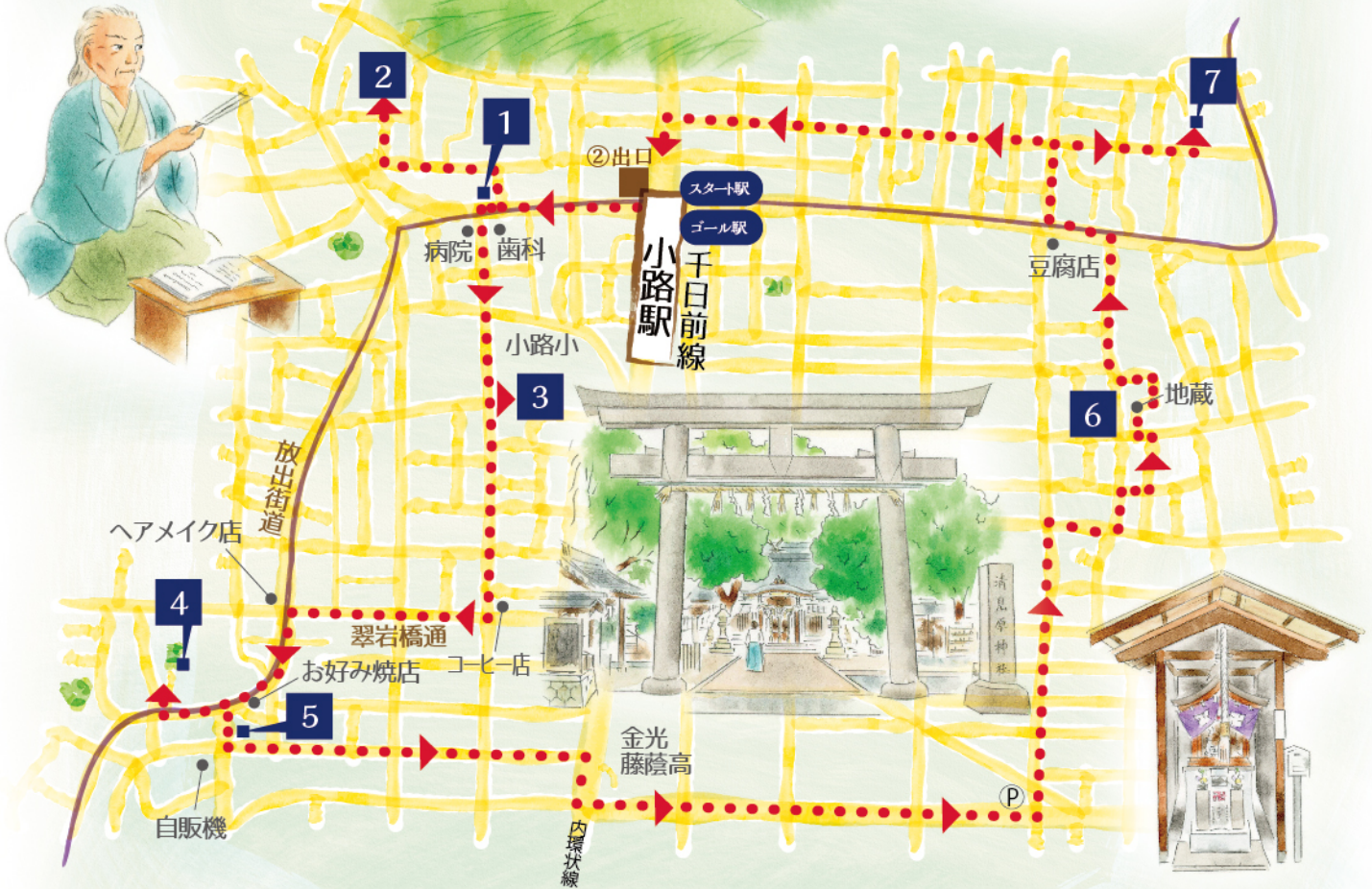
小路駅
70分
コース

千日前線 小路駅

西河内の小路村

天武天皇の 難波行幸の道を往く

清見原神社は、天武天皇が飛鳥から難波に行幸するときに休息した地だとされています。少し高台になっていて、天皇は西に望み、南方に吉野をかえり見たとされています。



スタート駅	約 70 分	ゴール駅
千日前線 小路駅 ②号出口	<p>1 春高稲荷社蹟碑(片江村) 片江村の宮跡碑 小路耕地整理の記念碑</p> <p>2 偏増寺</p> <p>3 清見原神社(大友村)</p> <p>4 釈翠岩墓所</p> <p>5 松尾神社跡(中川村)</p> <p>6 東小路の街並み(腹見村)</p> <p>7 布施戎神社・布施(足代村)</p>	千日前線 小路駅

明治22年(1889)に中川村、片江村、大友村、腹見村が合併して小路村になりました。このあたりは総称して申小路と呼ばれていましたので、そこから「中」を省いて小路村としました。中小路は片江村の北に通っている暗越奈良街道の別称です。

小路駅
70分
コース

Osaka Metro まちさんぽ

千日前線 小路駅

西河内の小路村

天武天皇の難波行幸の道を往く

清見原神社は、天武天皇が飛鳥から難波に行幸するときに休息した地だとされています。少し高台になっていて、天皇は西に住吉の海を望み、南方に吉野をかえり見たとされています。

スタート駅

約 70 分

ゴール駅

千日前線小路駅②号出口

千日前線小路駅

1 小路耕地整理の記念碑、片江村の宮跡碑、春高稲荷社蹟碑〔片江村〕

大正14年(1925)に大阪市に編入されるまでここに小路村役場があり、その跡地に小路耕地整理の記念碑、片江村の宮跡碑、春高稲荷社蹟碑があります。春高稲荷神社は旧片江村の氏神(村の宮)だった素盞鳴尊神社の境内社でしたが、現在は本社とともに清見原神社に合祀されています。片江村はここから北へ今里方面に広がる村で、片江という名前は、傍江・浜江ともされ、長瀬川(旧大和川)と平野川が交わる江(水辺)である「交江」に由来する名称だといわれています。



2 偏増寺

永正10年(1513)に本願寺・蓮如上人の孫にあたる蓮上人が創建した寺院で、蓮如上人の名前にある蓮を裏の池で育てたとされることから「蓮の寺」とも呼ばれていました。5本の白線のある外壁は、本願寺より特に許された格式のある寺院を示しています。



3 清見原神社〔大友村〕

天武天皇が大和の飛鳥浄御原宮から難波に行幸したときにこの地で休息したという伝承があり、天皇が崩御したのちにこのあたりを本拠地としていた大伴氏が社を建て、天皇の神霊を祀ったのが創建だとされています。当初の社名は天武天皇宮と称しましたが、明治5年(1872)に飛鳥浄御原宮になぞって清見原宮と改称し、旧大友村の氏神となりました。この地の周辺は湿地帯でしたが、神社は高台にあり、天武天皇は一時身を置いた吉野の方角を懐かしく振り返るとされ、吉野見という地名が残っていました。大友の村名は、大友皇子が在住したためとも、大伴金村の所領があったためともいわれています。



4 釈翠岩墓所

釈翠岩墓所は、貞享元年(1684)に旧中川村に生まれ、私財を投じて村の発展に尽くした社会事業家・住吉屋太郎右衛門の墓です。太郎右衛門は剃髪して翠岩と号し、11か所の架橋、道路修理、村民への施米など数えきれない社会事業を手がけました。当時寄進された土地は現在も中川町財産区として管理運営されて、福祉や地域振興に恩恵を与えています。62歳で逝去しましたが、墓所の入り口には翠岩の架けた石橋の一部が記念石として置かれています。



5 松尾神社跡〔中川村〕

このあたりは旧中川村で、かつてここに村の氏神である松尾神社がありました。現在は清見原神社に合祀されています。中川村の名前は、平野川の分流であった中ノ川という小川の流域であったことに由来しています。



6 東小路の街並み〔腹見村〕

東小路地区は、旧腹見村の旧家が残る閑静な街並みとなっています。この地は小高い地形だったことから「原見」とされていましたが、秀吉が来村したときに踊りでもてなした娘たちの着物がはがれて「腹が見えた」ということから「腹見」に改称したという伝説があります。



7 布施戎神社・布施〔足代村〕

この地には足代村の氏神である都留彌神社が祀られていましたが、明治政府の神社合祀令によって明治40年(1907)に近隣の神社と合併して、東方約1kmへ移転しました。移転後の土地は足代村へ払い下げられ、地元民の要望で昭和29年(1954)に西宮神社から戎大神を勧請して戎神社を創建し、さらに昭和63年(1988)には大阪の今宮戎の神霊を勧請して「河内のえべっさん」となりました。布施の名は、奈良時代の東大寺建立のときに河内における建立従事者の一時宿泊所である布施屋が由来だという説があります。



文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2024年1月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行：Osaka Metro

協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先)大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp

後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<https://www.osaka-asobo.jp> または で検索

ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。
※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。住宅敷地内での写真撮影は厳禁です。

ご案内

※駅スタンプは駅長室付近に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

駅スタンプ押印欄



毎月第1金曜日発行